

第 278 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 8 年 6 月 9 日 (火) 開催 会場 : Tech Hub Yokohama 】

1. ファルストマ株式会社 代表者 久保田 雅彦 氏

【住所】東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎の門ヒルズビジネスタワー15 階 【設立】2023 年 10 月

【資本金】40,500 千円

【事業概要】当社は、独自の高濃度ウルトラファインバブル(UFB)水生成技術を活用し、「気体を液体で扱う」新産業基盤の構築を目指すディープレック・スタートアップです。従来困難であった高濃度 UFB 水の大量生成を可能とし、医療・環境・化学・農業分野への応用を推進しております。

医療分野では、GLP-1 製剤(セマグルチド等)の経口吸収向上技術として研究開発を進めており、群馬大学医学部生体調節研究所 白川純教授との共同研究を推進しています。既存経口薬が抱える低吸収率・高コスト・大型錠剤といった課題を解決し、次世代の肥満症・糖尿病治療薬への展開を目指しております。環境分野では、食品工場等から排出される CO₂を回収し、高濃度 CO₂-UFB 水として低圧・常温で保持・輸送・供給する「CO₂クローズドリサイクルシステム」を開発しており、キッコーマン株式会社等との共同研究を進めています。農業用途(施設園芸・高糖度果実栽培)や化学用途(ギ酸等の CO₂資源化)への展開も進めています。当社の特色は、①世界トップクラスの高濃度 UFB 生成技術、②医療と GX(脱炭素)の両市場に展開可能な希少性、③特許・ノウハウを活用した高い参入障壁、④装置販売+継続収益モデル(ライセンス・運用サービス)の収益構造にあります。今後は、日本・米国・欧州での特許戦略を推進し、大手企業との共同研究・ライセンス契約・装置販売を加速させ、グローバル市場への展開を目指します。

【コメント】久保田社長はキャノン社出身で、UFB の研究開発および応用研究に従事されてきました。同社は日本発祥の UFB 技術を活用し、CO₂ガスを液体として扱い、運搬可能とする技術を開発しています。世界の CCUS 市場規模は 2035 年に約 11 兆円へ拡大すると予測されており、将来的には株式上場も視野に入れておられました。



2. BS Code 株式会社 代表者 中内 奈々 氏、発表者 取締役 歌川 英之 氏

【住所】東京都港区赤坂 2 丁目 11-3 福田ビルウエスト 7 階 【設立】2024 年 10 月 【資本金】30,000 千円

【事業概要】自社開発システムとスマート AI グラスの活用による「技術承継プラットフォーム」を提供しています。熟練者の判断基準や作業ノウハウを AI が学習・体系化することで、誰もがベテランと同等の判断・作業を実現。スマートグラスを通じた現場データの継続収集により、競合が持ち得ない独自データ資産を蓄積していることが最大の参入障壁です。収益モデルは初期導入費+月額 SaaS+AI 知識モデル構築費で構成。現場で記録されたデータが AI の学習に還元され、仕組みとして回り続ける自律的な成長モデルです。本ビジネスモデルは厚生労働省主催「第 1 回 CARISO Caretech Startup Awards」特別審査員賞を受賞しています。

- (1) 介護 DX | NASRECO: TAM 11.5 兆円/SOM 350 億円。外国語対応と熟練ケアの AI 知識モデル化により、特定技能・技能実習生や新人スタッフの即戦力化を実現。後発参入ながら導入実績を持ち、差別化されたポジションを確立しています。
- (2) スマート AI グラス | NASGlass: 装着するだけでハンズフリー音声記録が可能となり、「人が考えて記録する」業務を AI 支援によるサポート、自動化へと根本から変革します。NASRECO との連動により記録・情報共有・業務サポートをシームレスに実現。
- (3) 農業 DX | Vegetania WORKS: TAM 10.7 兆円/SOM 270 億円。長野県最大規模の農業法人との提携 PoC を進行中。熟練農家の収穫判断を AI が学習・再現し、収穫品質の均一化と若手農家への技術承継を同時に実現します。
- (4) 営業 DX | BDock / SimNote: AI を活用した営業支援・顧客管理プラットフォーム。商談記録の自動生成と顧客インサイトの抽出により、営業組織全体の生産性向上を支援します。

【コメント】同社は介護・農業分野での現場実証に加え、大規模 SI や AI 開発の技術力、事業開発力を強みとしております。将来的には日本で“日本式介護”モデルを確立し、海外展開を目指しているとのことでした。



3. 株式会社 STEAM Sports Laboratory 代表者 山羽 教文 氏

【住所】東京都港区芝 4-3-5 ファースト岡田ビル 4F 【設立】2018 年 11 月 【資本金】74,400 千円

【事業概要】学力テストの普及が偏差値という共通指標を生み、塾・予備校・模試・入試産業からなる 3 兆円規模の「学力経済圏」を創出した。一方、社会で最も求められる非認知能力——やり抜く力、問いを立てる力、協働力——には共通指標が存在せず、経済圏が形成されていない。

当社は東京大学 USSI との共同研究に基づき、AI コーチとの対話ログから非認知能力を科学的に可視化する教育 DX プラットフォーム「CoachQuest / GrowthMap」を開発。50 校・1.2 万人で実証済。非認知能力に共通指標が生まれることで、教育・入試・採用・人材育成を横断する新たな経済圏の創出を目指す。

【コメント】山羽社長は大学時代にラグビー部でキャプテンを務め、その経験が起業の原点になったとのこと。同社は AI を活用した非認知能力の可視化に取り組んでおり、将来的には中高から大学、社会までを貫く“人生のライフログ”の構築を目指しているとのことでした。



【感想】今回の発表会は開催直前までお申し込みが続き、皆様の関心の高さを強く感じる会となりました。交流会においても活発な情報交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

どの発表企業もそれぞれの分野でイノベーションを起こし、新たなマーケットの創出に取り組まれており、今後の展開が楽しみです。

数カ月前まで登壇企業の予定が確定しておりますが、ご登壇をご希望の方がいらっしゃいましたら、お早めに事務局までお問い合わせいただけますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 279 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■ 日 時: 令和 8 年 7 月 14 日 (火) 13:30~15:00

■ 会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
 (株)TNP パートナース、(株)TNP スレズオプライト
 井 汲 美 樹